



新高山城郭図

国史跡・小早川氏城跡

にいとかやま

新高山城跡

(昭和32年12月11日 指定)

竹原小早川家から本家沼田小早川家の17代となった小早川隆景は、高山城へ入城した1年後、天文21年(1552)、副壘としていた沼田川対岸の新高山山頂の砦を修築し、ここに本拠を移した。新高山城からは沼田川流域や河口の展望がよくでき、水運の便もよく、また、家臣の人心一新のため城替えしたといわれる。

沼田川をはさんで高山城に対峙し、北側と東側は沼田川によって天然の濠をなしている。標高197.6m、東よりの中腹以上の斜面には岩石が露出し、いたるところに岩壁がそそりたち、するどくそびえた峻厳な山容である。

城の縄張りは東西約400m、内郭は頂上尾根や鞍部を巧妙に活用して本丸・東の丸・ライゲンガ丸・中の丸・釣井の段(井戸郭)・西の丸・北の丸等が構築されている。外郭は斜面の中腹から張り出した二つの尾根を利用し、大手側を固める意図をもって巧妙に配置され、匡真寺跡・鐘の段・番所跡・紫竹の丸・シンゾウス郭・大手道などがある。これらの郭はすべて地山を削平し、又は、切削り、あるいは掘切り、必要な箇所は石積で補強し、随所に帶曲輪や腰曲輪で結ばれ、また、石垣、空堀、竪堀を設けている。とくに近世城郭に関連する枠形城門の採用が各所にみられる。



左 新高山城跡

右 高山城跡

新高山城跡周辺マップ



三原市教育委員会
文化課

〒723-0014
三原市城町1丁目2-1 三原市城町庁舎2階

TEL 0848-64-9234
FAX 0848-67-5912



